

注3

**大学番号：私103**

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**届出**

東京家政学院大学 現代生活学部 食物学科

注2

**【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人東京家政学院  
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画グループ

職名・氏名 カチョウ 課長・ユミヤマ 込山 ヤスヒコ 弥彦

電話番号 03-3262-2254

（夜間） 03-3262-2254

F A X 03-3262-2174

e-mail kikaku-g@kasei-gakuin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

現代生活学部

	ページ
＜食物学科＞	
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人東京家政学院

## (2) 大学名

東京家政学院大学

## (3) 大学の位置

〒194-0292

東京都町田市相原町2600番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( 林ヨシ 和祐 ) 沖吉 和祐 (平成26年6月)		
学長	(ヒロエ アキラ) 廣江 彰 (平成27年4月)		
学部長	(ミヤケ リコ) 三宅 紀子 (平成30年4月)		
学科長等	(オグチ イツコ) 小口 悦子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)  
平成30年度に報告する内容 → (30)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
現代生活学部 食物学科 学士(家政学)	家政関係	4年	70人	- 年次人	280人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70 ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	1.07 倍	
志願者数	239 ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]		
受験者数	224 ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]		
合格者数	198 ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]		
B 入学者数	75 ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]	- ( ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.07%		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	75 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
2年次	/		[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
計	75 [ - ] ( - )		[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	75人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	75人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{75} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<現代生活学部 食物学科>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
アカデミックス キル	リテラシー演習	1前	1								兼8
	コンピュータ演習 a	1前	1								兼1
	コンピュータ演習 b	1後	1								兼1
文化と表現	日本の言語と文化	1前		2							兼1
	文章表現法	1後		2							兼1
	外国の言語と文化	1後		2							兼1
	異文化コミュニケーション	1前		2							兼1
	民俗学	1後		2							兼1
	考古学	1後		2							兼1
	音楽	1前		2							兼1
美学・美術史	1前		2							兼1	
色彩論	1後		2							兼1	
数理と情報	基礎数学a	1前		2							兼1
	基礎数学b	1後		2							兼1
	数学トピックス	1前		2							兼1
	基礎統計学a	1前		2							兼1
	基礎統計学b	1後		2							兼1
	コンピュータ概論	1後		2							兼1
からだと健康	人間の体	1後		2							兼1
	ダイエットとフィットネス	1前		2							兼1
	レクリエーション概論	1後		2							兼1
	健康スポーツ演習a	1前		1							兼3
	健康スポーツ演習b	1後		1							兼4
	健康スポーツ演習c	1前		2							兼2
	健康スポーツ演習d	1前・後		2							兼2
	体育講義	1後		1							兼1
	体育実技	1後		1							兼1
	教養の物理学	1後		2							兼1
自然と環境	教養の化学	1後		2							兼1
	化学入門	1前		2							兼1
	教養の生物学	1後		2		1					
	生物学入門	1前		2		1					
	自然史	1前		2		1					
	環境と資源	1前		2		1					
	地球の科学	1後		2							兼1
	法学入門(日本国憲法)	1前・後		2							兼1
社会と生活	市民と法	1前		2							兼1
	社会学入門	1前		2							兼1
	経済学入門	1前		2							兼1
	経営学入門	1前		2							兼1
	日本の歴史	1後		2							兼1
	世界の歴史	1後		2							兼1
	国際関係論	1後		2							兼1
生き方の問題	哲学入門	1前		2							兼1
	生命倫理	1前		2							兼1
	心理学a	1前		2							兼1
	心理学b	1後		2							兼1
	ジェンダー論	1後		2							兼1
	東京家政学院を学ぶ	1前		2							兼3

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
アカデミックス キル	リテラシー演習	1前	1								兼8
	コンピュータ演習 a	1前	1								兼1
	コンピュータ演習 b	1後	1								兼1
文化と表現	日本の言語と文化	1前		2							兼1
	文章表現法	1後		2							兼1
	外国の言語と文化	1後		2							兼1
	異文化コミュニケーション	1前		2							兼1
	民俗学	1後		2							兼1
	考古学	1後		2							兼1
	音楽	1前		2							兼1
美学・美術史	1前		2							兼1	
色彩論	1後		2							兼1	
数理と情報	基礎数学a	1前		2							兼1
	基礎数学b	1後		2							兼1
	数学トピックス	1前		2							兼1
	基礎統計学a	1前		2							兼1
	基礎統計学b	1後		2							兼1
	コンピュータ概論	1後		2							兼1
からだと健康	人間の体	1後		2							兼1
	ダイエットとフィットネス	1前		2							兼1
	レクリエーション概論	1後		2							兼1
	健康スポーツ演習a	1前		1							兼3
	健康スポーツ演習b	1後		1							兼4
	健康スポーツ演習c	1前		2							兼2
	健康スポーツ演習d	1前・後		2							兼2
	体育講義	1後		1							兼1
	体育実技	1後		1							兼1
	教養の物理学	1後		2							兼1
自然と環境	教養の化学	1後		2							兼1
	化学入門	1前		2							兼1
	教養の生物学	1後		2		1					
	生物学入門	1前		2		1					
	自然史	1前		2		1					
	環境と資源	1前		2		1					
	地球の科学	1後		2							兼1
	法学入門(日本国憲法)	1前・後		2							兼1
社会と生活	市民と法	1前		2							兼1
	社会学入門	1前		2							兼1
	経済学入門	1前		2							兼1
	経営学入門	1前		2							兼1
	日本の歴史	1前		2							兼1
	世界の歴史	1後		2							兼1
	国際関係論	1後		2							兼1
生き方の問題	哲学入門	1前		2							兼1
	生命倫理	1前		2							兼1
	心理学a	1前		2							兼1
	心理学b	1後		2							兼1
	ジェンダー論	1後		2							兼1
	東京家政学院を学ぶ	1前		2							兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語	Basic English 1	1前	1			1					兼2
	Basic English 2	1後	1			1					兼2
	Listening & Speaking 1	1前	1			1					兼2
	Listening & Speaking 2	1後	1			1					兼2
	Reading & Writing 1	1前	1			1					
	Reading & Writing 2	1後	1			1					
	Communication English 1	1前	1								兼1
	Communication English 2	1後	1								兼1
	英語検定対策講座	1後	1								兼1
	フランス語入門1	1前	1								兼1
	フランス語入門2	1後	1								兼1
	フランス語初級1	1前	1								兼1
	フランス語初級2	1後	1								兼1
	ドイツ語入門1	1前	1								兼1
	ドイツ語入門2	1後	1								兼1
	ドイツ語初級1	1前	1								兼1
	ドイツ語初級2	1後	1								兼1
	中国語入門1	1前	1								兼1
	中国語入門2	1後	1								兼1
	中国語初級1	1前	1								兼1
中国語初級2	1後	1								兼1	
韓国語入門1	1前	1								兼1	
韓国語入門2	1後	1								兼1	
韓国語初級1	1前	1								兼1	
韓国語初級2	1後	1								兼1	
総合演習	海外研修(英語研修)	1前	2								兼1
	海外研修(異文化理解)	1前	2								兼1
	英会話集中講座	1後	1								兼1
	地域貢献活動	1前	1								兼2
日本語・日本事情	アカデミック・ジャパニーズ1	1前	2								兼1
	アカデミック・ジャパニーズ2	1後	2								兼1
	日本の歴史と文化	1前	2								兼1
	日本語ラボa	1前	1								兼1
	日本語ラボb	1後	1								兼1
	日本語ラボc	1前	1								兼1
	日本語ラボd	1後	1								兼1
	社会人としての日本語	1後	1								兼1
デザイン	キャリアデザイン概論	1後	2								兼1
	キャリアデザインa	2前	1								兼1
	キャリアデザインb	2後	1								兼1
専門基礎	食生産体験演習A	1前	1			3	2		1		兼1
	食生産体験演習B	1後	1			3	2		1		兼1
	栄養士論	1前	2			1					
	地球環境と食	2前	2			1					
	フードビジネス概論	1前	2								兼1
	コミュニケーション・プレゼン演習	1後	1			1					
	有機化学	1後	2								兼1
	分子生物学	1後	2			1					
	統計学演習	1後	1								兼1
	基礎サイエンス実験	1後	1			2					
	食と語学A	1後	1				1				
	食と語学B	2前	1				1				
社会福祉学概論	1前	2								兼1	
社会生活と	公衆衛生学Ⅰ(総論)	2後	2								兼1
	公衆衛生学Ⅱ(各論)	3前	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語	Basic English 1	1前	1			1					兼2
	Basic English 2	1後	1			1					兼2
	Listening & Speaking 1	1前	1			1					兼2
	Listening & Speaking 2	1後	1			1					兼2
	Reading & Writing 1	1前	1			1					
	Reading & Writing 2	1後	1			1					
	Communication English 1	1前	1								兼1
	Communication English 2	1後	1								兼1
	英語検定対策講座	1後	1								兼1
	フランス語入門1	1前	1								兼1
	フランス語入門2	1後	1								兼1
	フランス語初級1	1前	1								兼1
	フランス語初級2	1後	1								兼1
	ドイツ語入門1	1前	1								兼1
	ドイツ語入門2	1後	1								兼1
	ドイツ語初級1	1前	1								兼1
	ドイツ語初級2	1後	1								兼1
	中国語入門1	1前	1								兼1
	中国語入門2	1後	1								兼1
	中国語初級1	1前	1								兼1
中国語初級2	1後	1								兼1	
韓国語入門1	1前	1								兼1	
韓国語入門2	1後	1								兼1	
韓国語初級1	1前	1								兼1	
韓国語初級2	1後	1								兼1	
総合演習	海外研修(英語研修)	1前	2								兼1
	海外研修(異文化理解)	1前	2								兼1
	英会話集中講座	1後	1								兼1
	地域貢献活動	1前	1								兼2
日本語・日本事情	アカデミック・ジャパニーズ1	1前	2								兼1
	アカデミック・ジャパニーズ2	1後	2								兼1
	日本の歴史と文化	1前	2								兼1
	日本語ラボa	1前	1								兼1
	日本語ラボb	1後	1								兼1
	日本語ラボc	1前	1								兼1
	日本語ラボd	1後	1								兼1
	社会人としての日本語	1後	1								兼1
デザイン	キャリアデザイン概論	1後	2								兼1
	キャリアデザインa	2前	1								兼1
	キャリアデザインb	2後	1								兼1
専門基礎	食生産体験演習A	1前	1			2	4		1		
	食生産体験演習B	1後	1			2	4		1		
	栄養士論	1前	2			1					
	地球環境と食	2前	2			1					
	フードビジネス概論	1前	2								兼1
	コミュニケーション・プレゼン演習	1後	1					1			
	有機化学	1後	2								兼1
	分子生物学	1後	2			1					
	統計学演習	1後	1								兼1
	基礎サイエンス実験	1後	1			1	1				
	食と語学A	1後	1				1				
	食と語学B	2前	1				1				
社会福祉学概論	1前	2								兼1	
社会生活と	公衆衛生学Ⅰ(総論)	2後	2								兼1
	公衆衛生学Ⅱ(各論)	3前	2								兼1



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ(解剖学)	1後	2								兼1
	解剖生理学Ⅱ(生理学)	2前	2								兼1
	解剖生理学実習	2前	1								兼1
	生化学(総論)	2後	2								兼1
	代謝栄養学(生化学各論)	3前	2								兼1
食品と衛生	栄養学・生化学実験	2後	1			1	1				
	食品学総論	1後	2			1					
	食品学各論	2前	2			1					
	食品学実験	2前	1			1					
	食品衛生学	3前	2			1					
栄養と健康	食品衛生学実験	3後	1			1					
	基礎栄養学	2前	2				1				
	応用栄養学	2後	2				1				
	栄養学各論実習	3後	1				1				
	臨床栄養学総論	3前	2				1				
栄養の指導	臨床栄養学各論	3後	2				1				
	臨床栄養学実習	3後	1				1				
	栄養学実習	3前	1				1				
	栄養指導論	3前	2			1					
	栄養指導実習	3後	1			1					
給食の運営	栄養カウンセリング論	3後	2			1					
	栄養カウンセリング実習	3後	1			1					
	公衆栄養学	3前	2			1					
	公衆栄養学実習	3後	1			1					
	給食管理学	2後	2			1					
給食の運営	校内給食管理実習	3前	1			1					
	校外給食管理実習	3後	1			1					
	基礎調理学実習	1前	2								兼1
	調理学	2前	2								兼1
	調理科学実験	2後	1								兼1
分野共通科目	微生物学	2後	2			1					
	HACCP実践演習	4前	2			1					
	食品機能学	3前	2			1					
	食品加工学	2後	2			1					
	食品加工学実習	2後	2			1					
	応用調理学実習	1後	2								兼1
	製品・食品鑑別演習	3前	2			1					
	食空間コーディネート論	2後	2			1	1				
	比較食文化・食生活論	1後	2						1		
	調理と文化	4前	2								兼1
	栄養士総合演習	2後	1			1					
	食物総合演習A	3前	1			5	3		1		
食物総合演習B	3後	1			5	3		1			
卒業研究A	4前	2			5	3		1			
卒業研究B	4後	2			5	3		1			
食産業企画開発分野	フードスペシャリスト論	1後	2			1					
	フードコーディネート論	2前	2			1					
	食品流通経済	3後	2			1					
	バイオサイエンス演習	3後	2			2					
	フードビジネス演習	4前	2			1					
	食企画・開発演習Ⅰ	2後	2			1					
	食企画・開発演習Ⅱ	3前	2			1					
食企画・開発演習Ⅲ	3後	2			1						
栄養士強化分野	病態生理学	2後	2				1				
	子どもの食とアレルギー	3前	2				1				
	調理と素材	3前	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ(解剖学)	1後	2									兼1
	解剖生理学Ⅱ(生理学)	2前	2									兼1
	解剖生理学実習	2前	1									兼1
	生化学(総論)	2後	2									兼1
	代謝栄養学(生化学各論)	3前	2									兼1
食品と衛生	栄養学・生化学実験	2後	1			1	1					
	食品学総論	1後	2					1				
	食品学各論	2前	2					1				
	食品学実験	2前	1					1				
	食品衛生学	3前	2					1				
栄養と健康	食品衛生学実験	3後	1					1				
	基礎栄養学	2前	2					1				
	応用栄養学	2後	2					1				
	栄養学各論実習	3後	1					1				
	臨床栄養学総論	3前	2					1				
栄養の指導	臨床栄養学各論	3後	2					1				
	臨床栄養学実習	3後	1					1				
	栄養学実習	3前	1					1				
	栄養指導論	3前	2					1				
	栄養指導実習	3後	1					1				
給食の運営	栄養カウンセリング論	3後	2					1				
	栄養カウンセリング実習	3後	1					1				
	公衆栄養学	3前	2					1				
	公衆栄養学実習	3後	1					1				
	給食管理学	2後	2					1				
給食の運営	校内給食管理実習	3前	1					1				
	校外給食管理実習	3後	1					1				
	基礎調理学実習	1前	2					1				
	調理学	2前	2									兼1
	調理科学実験	2後	1									兼1
分野共通科目	微生物学	2後	2			1						
	HACCP実践演習	4前	2			1						
	食品機能学	3前	2			1						
	食品加工学	2後	2			1						
	食品加工学実習	2後	2			1						
	応用調理学実習	1後	2									兼1
	製品・食品鑑別演習	3前	2			1						
	食空間コーディネート論	2後	2			1	1					
	比較食文化・食生活論	1後	2							1		
	調理と文化	4前	2									兼1
	栄養士総合演習	2後	1			1						
	食物総合演習A	3前	1			5	3		1			
食物総合演習B	3後	1			5	3		1				
卒業研究A	4前	2			5	3		1				
卒業研究B	4後	2			5	3		1				
食産業企画開発分野	フードスペシャリスト論	1後	2			1						
	フードコーディネート論	2前	2			1						
	食品流通経済	3後	2			1						
	バイオサイエンス演習	3後	2			2						
	フードビジネス演習	4前	2			1						
	食企画・開発演習Ⅰ	2後	2			1						
	食企画・開発演習Ⅱ	3前	2			1						
食企画・開発演習Ⅲ	3後	2			1							
栄養士強化分野	病態生理学	2後	2				1					
	子どもの食とアレルギー	3前	2				1					
	調理と素材	3前	2									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教員養成 専門科目	食事計画論	1後	2								兼1
	食教育研究	4前	2			1					
	被服学概論	1前	2								兼2
	服飾造形実習A	1後	2								兼1
	住居学概論(製図含む)	1前	2								兼1
	家庭経営学概論	1前	2								兼1
	家庭電気・機械・情報処理	3後	2								兼1
	保育学	3後	2								兼1
	食科学概論	1後	2			1					
	家庭看護(学校安全・救急看護)	2前	2								兼1
教職に関する科目 資格科目	教師論	1前			2						兼1
	教育原理	2前			2						兼1
	教育心理学	1前			2						兼1
	教育制度論	2前			2						兼1
	教育課程論	2後			1						兼1
	家庭科教育法A	2前			2						兼1
	家庭科教育法B	2後			2						兼1
	家庭科教育法C	3前			2						兼1
	家庭科教育法D	3後			2						兼1
	道徳教育論	2後			2						兼1
	特別活動論	3前			2						兼1
	教育方法・技術論	3前			1						兼2
	生徒指導論	3後			2						兼1
	教育相談論	2後			2						兼1
	教職実践演習(中等)	4後			2						兼1
	教職実践演習(栄養)	4後			2						兼3
	教育実習指導	4通			1						兼1
	教育実習A	4通			4						兼1
	教育実習B	4通			2						兼1
	栄養教育実習指導	4前			1						兼2
栄養教育実習	4通			1						兼2	
栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育論	3後			2						兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教員養成 専門科目	食事計画論	1後	2			1					
	食教育研究	4前	2			1					
	被服学概論	1前	2								兼2
	服飾造形実習A	1後	2								兼1
	住居学概論(製図含む)	1前	2								兼1
	家庭経営学概論	1前	2								兼2
	家庭電気・機械・情報処理	3後	2								兼1
	保育学	3後	2								兼1
	食科学概論	1後	2					1			
	家庭看護(学校安全・救急看護)	2前	2								兼1
教職に関する科目 資格科目	教師論	1前			2						兼1
	教育原理	2前			2						兼1
	教育心理学	1前			2						兼1
	教育制度論	2前			2						兼1
	教育課程論	2後			1						兼1
	家庭科教育法A	2前			2						兼1
	家庭科教育法B	2後			2						兼1
	家庭科教育法C	3前			2						兼1
	家庭科教育法D	3後			2						兼1
	道徳教育論	2後			2						兼1
	特別活動論	3前			2						兼1
	教育方法・技術論	3前			1						兼2
	生徒指導論	3後			2						兼1
	教育相談論	2後			2						兼1
	教職実践演習(中等)	4後			2						兼1
	教職実践演習(栄養)	4後			2						兼3
	教育実習指導	4通			1						兼1
	教育実習A	4通			4						兼1
	教育実習B	4通			2						兼1
	栄養教育実習指導	4前			1						兼2
栄養教育実習	4通			1						兼2	
栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育論	3後			2						兼2

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員の都合により、「日本の歴史」の配当年次が「1後期」から「1前期」に変更。
- ・担当教員の変更により、「東京家政学院を学ぶ」の兼任・兼任数を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の追加により、「地域貢献活動」の兼任・兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の予定していた昇任を見送ったため、「食生産体験演習A」「食生産体験演習B」の専任教員等の配置が「教授3」「准教授2」から「教授2」「准教授4」に変更。(完成年度までの教員異動も含んだ数も同時に記載変更しています。)
- ・担当教員の予定していた昇任を見送ったため、「コミュニケーション・プレゼン演習」の専任教員等の配置が「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の予定していた昇任がなかったことにより、「基礎サイエンス実験」の専任教員等の配置が「教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「食品学総論」の専任教員等の配置が「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の追加により、「家庭経営学概論」の兼任・兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
41 科目	129 科目	22 科目	192 科目	41 科目 [ 0 ]	129 科目 [ 0 ]	22 科目 [ 0 ]	192 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目や廃止科目はありません。
-------------------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{192} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	124,315㎡	0㎡	0㎡	124,315㎡		
	運 動 場 用 地	11,468㎡	0㎡	0㎡	11,468㎡		
	小 計	135,783㎡	0㎡	0㎡	135,783㎡		
	そ の 他	5,112㎡	0㎡	0㎡	5,112㎡		
	合 計	140,895㎡	0㎡	0㎡	140,895㎡		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	41,447㎡ (41,447㎡)	0㎡ (0㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	41,447㎡ (41,447㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	39 室	23 室	80 室	4 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数				
	現代生活学部 食物学科		9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
	現代生活学部	259,538 [31,866] (259,538 [31,866])	3,786 [442] (3,786 [442])	579 [10] (579 [10])	8,151 (8,151)	1,252 (1,252)	33 (33)
	計	262,360 [32,077] (260,696 [32,013])	3,786 [442] (3,786 [442])	579 [10] (579 [10])	8,151 (8,151)	1252 (1,252)	33 (33)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	2,926.00㎡		290席		322,000冊		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	1,752.00㎡		テニスコート・グラウンド		ゴルフ練習場		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	1,800千円	1,800千円
	共 同 研 究 費 等	800千円	800千円	設備購入費	8,600千円	8,600千円	8,600千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,366千円	1,116千円	1,116千円	1,116千円	—	—
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金, 雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称		東京家政学院大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	平成30年学生募集停止
	年	人	年次 人	人		倍			
現代生活学部									
現代家政学科		130	3年次 5	530	学士 (家政学)	1.05	平成22年度	東京都千代田区日番町22番地	
健康栄養学科		-	-	-	学士 (栄養学)	-	平成22年度	同上	
生活デザイン学科		80	3年次 10	340	学士 (家政学)	0.61	平成22年度	東京都町田市相原町2600番地	
児童学科		90	3年次 5	370	学士 (児童学)	0.87	平成22年度	同上	
食物学科		70	-	280	学士 (家政学)	1.07	平成30年度	同上	
人間福祉学科		-	-	-	学士 (児童学)	-	平成22年度		
人間栄養学部									
人間栄養学科		140	-	560	学士 (栄養学)	1.04	平成30年度	東京都千代田区日番町22番地	
大学 の 名 称		東京家政学院大学大学院							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間生活学研究科									
生活文化専攻	2	10	-	20	修士 (人間生活学)	0.20	平成7年度	東京都町田市相原町2600番地	
大学 の 名 称		筑波学院大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経営情報学部									
ビジネスデザイン学科	4	200	-	800	学士 (経営情報)	0.73	平成22年度	茨城県つくば市吾妻3-1	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代生活学部 食物学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	教授	若見 哲夫 (61) <平成30年4月> 教養の生物学 生物学入門 自然史 環境と資源 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 地球環境と食 分子生物学 基礎サイエンス実験 ※ 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B バイオサイエンス演習 ※	専任	教授	若見 哲夫 (61) <平成30年4月> 教養の生物学 生物学入門 自然史 環境と資源 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 地球環境と食 分子生物学 基礎サイエンス実験 ※ 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B バイオサイエンス演習 ※
兼任	講師	小口 悦子 (67) <平成32年4月> <b>東京家政大学職を学ぶ ※</b> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 基礎調理学実習 調理学 調理科学実験 応用調理学実習 調理と文化 調理と素材 食事計画論	兼任	講師	小口 悦子 (65) <平成32年4月> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 基礎調理学実習 調理学 調理科学実験 応用調理学実習 調理と文化 調理と素材 食事計画論
専任	教授	小口 悦子 (65) 高 <平成30年4月> <b>東京家政大学職を学ぶ ※</b> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 基礎調理学実習 調理学 調理科学実験 応用調理学実習 食事計画論	専任	教授	小口 悦子 (65) <平成30年4月> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 基礎調理学実習 調理学 調理科学実験 応用調理学実習 食事計画論
専任	教授	黒田 久夫 (57) <平成30年4月> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ コミュニケーション・プレゼン演習 基礎サイエンス実験 ※ <b>食品学総論</b> 食品学実験 食品機能学 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B 食品流通経済 フードビジネス演習 食企画・開発演習Ⅰ 食企画・開発演習Ⅱ 食企画・開発演習Ⅲ	専任	准教授	黒田 久夫 (58) <平成30年4月> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ コミュニケーション・プレゼン演習 基礎サイエンス実験 ※ 食品学実験 食品機能学 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B 食品流通経済 フードビジネス演習 食企画・開発演習Ⅰ 食企画・開発演習Ⅱ 食企画・開発演習Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授	山崎 薫 (48) <平成32年4月> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 栄養学・生化学実験 ※ 食品学各論 食品衛生学 食品衛生学実験 微生物学 HACCP実践演習 食品加工学 食品加工学実習 製品・食品鑑別演習 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B バイオサイエンス演習 ※ 食科学概論	山崎 薫 (46) <平成32年4月> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 栄養学・生化学実験 ※ 食品学各論 食品衛生学 食品衛生学実験 微生物学 HACCP実践演習 食品加工学 食品加工学実習 製品・食品鑑別演習 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B バイオサイエンス演習 ※ 食科学概論 <b>食品学概論</b>
専任	准教授	山崎 薫 (46) <平成30年4月> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 栄養学・生化学実験 ※ 食品学各論 微生物学 食品加工学 食品加工学実習 食科学概論	山崎 薫 (46) <平成30年4月> 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 栄養学・生化学実験 ※ 食品学各論 微生物学 食品加工学 食品加工学実習 食科学概論 <b>食品学概論</b>
専任	教授	山田 正子 (52) <平成30年4月> 栄養士論 給食管理学 校内給食管理実習 校外給食管理実習 食空間コーディネート論 ※ 栄養士総合演習 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B フーズスペシャリスト論 フードコーディネート論	山田 正子 (52) <平成30年4月> 栄養士論 給食管理学 校内給食管理実習 校外給食管理実習 食空間コーディネート論 ※ 栄養士総合演習 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B フーズスペシャリスト論 フードコーディネート論
専任	教授	三澤 朱実 (60) <平成30年4月> 栄養指導論 栄養指導実習 栄養カウンセリング論 栄養カウンセリング実習 公衆栄養学 公衆栄養学実習 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B 食教育研究	三澤 朱実 (60) <平成30年4月> 栄養指導論 栄養指導実習 栄養カウンセリング論 栄養カウンセリング実習 公衆栄養学 公衆栄養学実習 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B 食教育研究



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	天和田 寛 (61) <平成30年4月>
		Basic English 1 Basic English 2 Listening&Speaking 1 Listening&Speaking 2 Reading & Writing 1 Reading & Writing 2 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 食と語学A 食と語学B 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B
専任	准教授	高尾 純宏 (61) <平成30年4月>
		食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 食空間コーディネート論 ※ 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B
専任	准教授	岩本 直樹 (41) <平成30年4月>
		栄養学・生化学実験 ※ 基礎栄養学 応用栄養学 栄養学各論実習 臨床栄養学総論 臨床栄養学各論 臨床栄養学実習 栄養学実習 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B 病態生理学 子どもの食とアレルギー
専任	助教	櫻井 美代子 (63) <平成30年4月>
		食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 比較食文化・食生活論 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B
兼任	講師	尾崎 利生 (67) <平成31年4月>
		法学入門(日本国憲法) 市民と法
兼任	教授	尾崎 利生 (66) <平成30年4月>
		法学入門(日本国憲法) 市民と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	天和田 寛 (61) <平成30年4月>
		Basic English 1 Basic English 2 Listening&Speaking 1 Listening&Speaking 2 Reading & Writing 1 Reading & Writing 2 食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 食と語学A 食と語学B 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B
専任	准教授	高尾 純宏 (61) <平成30年4月>
		食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 食空間コーディネート論 ※ 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B
専任	准教授	岩本 直樹 (41) <平成30年4月>
		栄養学・生化学実験 ※ 基礎栄養学 応用栄養学 栄養学各論実習 臨床栄養学総論 臨床栄養学各論 臨床栄養学実習 栄養学実習 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B 病態生理学 子どもの食とアレルギー
専任	助教	櫻井 美代子 (63) <平成30年4月>
		食生産体験演習A ※ 食生産体験演習B ※ 比較食文化・食生活論 食物総合演習A 食物総合演習B 卒業研究A 卒業研究B
兼任	講師	尾崎 利生 (66) <平成31年4月>
		法学入門(日本国憲法) 市民と法
兼任	教授	尾崎 利生 (66) <平成30年4月>
		法学入門(日本国憲法) 市民と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 和正 (67) <平成33年4月>
		リテラシー演習 ※ 人間の体 ダイエットとフィットネス 健康スポーツ演習b 健康スポーツ演習c 健康スポーツ演習d 体育講義 体育実技
兼任	教授	金子 和正 (64) <平成30年4月>
		リテラシー演習 ※ 人間の体 ダイエットとフィットネス 健康スポーツ演習b 健康スポーツ演習c 健康スポーツ演習d 体育講義 体育実技
兼任	講師	藤田 恵子 (67) <平成31年4月>
兼任	教授	藤田 恵子 (66) <平成30年4月>
		服飾造形実習A
兼任	教授	上村 協子 (62) <平成30年4月>
		家庭科教育法A 家庭科教育法B
兼任	教授	内田 宗一 (45) <平成30年4月>
		日本の言語と文化 文章表現法 日本の歴史と文化 社会人としての日本語
兼任	教授	畠部 典子 (62) <平成30年4月>
		リテラシー演習 ※ 異文化コミュニケーション Basic English 1 Basic English 2 Listening&Speaking 1 Listening&Speaking 2 海外研修(英語研修)【隔年】 海外研修(異文化理解)【隔年】
兼任	教授	梶田 考一 (61) <平成30年4月>
兼任	教授	河田 敦子 (58) <平成30年4月>
		東京家政学識を学ぶ ※ 家庭経営学概論 教育原理 教育課程論 家庭科教育法C 家庭科教育法D 道徳教育論 教職実践演習(中等) 教職実践演習(栄養) ※ 教育実習指導 栄養教育実習指導 栄養教育実習 教育実習A 教育実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 和正 (64) <平成33年4月>
		リテラシー演習 ※ 人間の体 ダイエットとフィットネス 健康スポーツ演習b 健康スポーツ演習c 健康スポーツ演習d 体育講義 体育実技
兼任	教授	金子 和正 (64) <平成30年4月>
		リテラシー演習 ※ 人間の体 ダイエットとフィットネス 健康スポーツ演習b 健康スポーツ演習c 健康スポーツ演習d 体育講義 体育実技
兼任	講師	藤田 恵子 (66) <平成31年4月>
兼任	教授	藤田 恵子 (66) <平成30年4月>
		服飾造形実習A
兼任	教授	上村 協子 (62) <平成30年4月>
		家庭科教育法A 家庭科教育法B 家庭経営学概論
兼任	教授	内田 宗一 (45) <平成30年4月>
		日本の言語と文化 文章表現法 日本の歴史と文化 社会人としての日本語
兼任	教授	畠部 典子 (62) <平成30年4月>
		リテラシー演習 ※ 異文化コミュニケーション Basic English 1 Basic English 2 Listening&Speaking 1 Listening&Speaking 2 海外研修(英語研修)【隔年】 海外研修(異文化理解)【隔年】
兼任	教授	梶田 考一 (61) <平成30年4月>
兼任	教授	河田 敦子 (58) <平成30年4月>
		家庭経営学概論 教育原理 教育課程論 家庭科教育法C 家庭科教育法D 道徳教育論 教職実践演習(中等) 教職実践演習(栄養) ※ 教育実習指導 栄養教育実習指導 栄養教育実習 教育実習A 教育実習B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼担	教授	小池 孝子 (51) <平成31年4月> 住居学概論(製図含む)
兼担	准教授	小池 孝子 (50) <平成30年4月> 住居学概論(製図含む)
兼担	教授	佐藤 広美 (63) <平成30年4月> 教師論 教育制度論
兼担	教授	新開 よしみ (56) <平成30年4月> 保育学
兼担	教授	富田 弘美 (59) <平成31年4月> 東京家政学院を学ぶ ※ 被服学概論 ※
兼担	准教授	富田 弘美 (58) <平成30年4月> 東京家政学院を学ぶ ※ 被服学概論 ※
兼担	教授	西口 守 (61) <平成30年4月> 社会福祉学概論
兼担	教授	吉田 博幸 (56) <平成30年4月> 健康スポーツ演習 d
兼担	教授	酒井 治子 (52) <平成30年4月> 教職実践演習(栄養) ※ 学校栄養教育論 ※
兼担	准教授	大嶋 徹 (61) <平成30年4月> リテラシー演習 ※ レクリエーション概論 健康スポーツ演習 a 健康スポーツ演習 b 健康スポーツ演習 c 地域貢献活動
兼担	准教授	金森 敏 (43) <平成30年4月> 経営学入門 キャリアデザイン概論 キャリアデザイン a キャリアデザイン b
兼担	准教授	木村 文香 (42) <平成30年4月> 教育心理学 教育方法・技術論 教育相談論
兼担	准教授	齋藤 史夫 (61) <平成30年4月> リテラシー演習 ※ 特別活動論 生徒指導論
兼担	准教授	新海 公昭 (36) <平成30年4月> 基礎数学 a 基礎数学 b 数学トピックス 基礎統計学 a 基礎統計学 b 統計学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼担	教授	小池 孝子 (50) <平成31年4月> 住居学概論(製図含む)
兼担	准教授	小池 孝子 (50) <平成30年4月> 住居学概論(製図含む)
兼担	教授	佐藤 広美 (63) <平成30年4月> 教師論 教育制度論 地域貢献活動
兼担	教授	新開 よしみ (56) <平成30年4月> 保育学
兼担	教授	富田 弘美 (59) <平成31年4月> 東京家政学院を学ぶ ※ 被服学概論 ※
兼担	准教授	富田 弘美 (59) <平成30年4月> 東京家政学院を学ぶ ※ 被服学概論 ※
兼担	教授	西口 守 (61) <平成30年4月> 社会福祉学概論
兼担	教授	江川 賢一 (46) <平成30年4月> 健康スポーツ演習 d
兼担	教授	酒井 治子 (52) <平成30年4月> 教職実践演習(栄養) ※ 学校栄養教育論 ※
兼担	准教授	大嶋 徹 (61) <平成30年4月> リテラシー演習 ※ レクリエーション概論 健康スポーツ演習 a 健康スポーツ演習 b 健康スポーツ演習 c 地域貢献活動
兼担	准教授	金森 敏 (43) <平成30年4月> 経営学入門 キャリアデザイン概論 キャリアデザイン a キャリアデザイン b
兼担	准教授	木村 文香 (42) <平成30年4月> 教育心理学 教育方法・技術論 教育相談論
兼担	准教授	齋藤 史夫 (61) <平成30年4月> リテラシー演習 ※ 特別活動論 生徒指導論
兼担	准教授	新海 公昭 (36) <平成30年4月> 基礎数学 a 基礎数学 b 数学トピックス 基礎統計学 a 基礎統計学 b 統計学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼担	准教授	千葉 一博 (55) ＜平成30年4月＞ リテラシー演習 ※ コンピュータ演習a コンピュータ演習b <b>コンピュータ概論</b>
兼担	准教授	加地 雄一 (40) ＜平成30年4月＞ 心理学a 心理学b
兼担	准教授	花田 朋美 (50) ＜平成30年4月＞ 被服学概論 ※
兼担	准教授	マーク ルイス (58) ＜平成30年4月＞ Communication English 1 Communication English 2 英会話集中講座
兼担	准教授	森 朋子 (55) ＜平成30年4月＞ リテラシー演習 ※ アカデミック・ジャパニーズ1 アカデミック・ジャパニーズ2 日本語ラボa 日本語ラボb 日本語ラボc 日本語ラボd
		<b>山原(藤井) 麻紀子 (41) ＜平成30年4月＞ 音楽</b>
兼担	准教授	大富 あき子 (52) ＜平成30年4月＞ 学校栄養教育論 ※
兼担	准教授	辻 雅子 (45) ＜平成30年4月＞ 教職実践演習(栄養) ※ 栄養教育実習指導 栄養教育実習
兼担	助教	朝倉 和子 (46) ＜平成30年4月＞ リテラシー演習 ※
兼担	助教	佐々木 麻紀子 (44) ＜平成30年4月＞ リテラシー演習 ※
兼任	講師	綾部 素幸 (59) ＜平成30年4月＞ フランス語入門1 フランス語入門2 フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	講師	大野 裕之 (54) ＜平成30年4月＞ 経済学入門
兼任	講師	久々湊 直子 (52) ＜平成30年4月＞ 美学・美術史
兼任	助教	小谷 太郎 (50) ＜平成30年9月＞ 教養の物理学
兼任	講師	河野 哲宏 (34) ＜平成30年4月＞ 中国語入門1 中国語入門2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼担	准教授	千葉 一博 (55) ＜平成30年4月＞ リテラシー演習 ※ コンピュータ演習a コンピュータ演習b
		<b>田中 康裕 (39) ＜平成30年9月＞ コンピュータ概論</b>
兼担	准教授	加地 雄一 (40) ＜平成30年4月＞ 心理学a 心理学b
兼担	准教授	花田 朋美 (50) ＜平成30年4月＞ 被服学概論 ※
兼担	准教授	マーク ルイス (58) ＜平成30年4月＞ Communication English 1 Communication English 2 英会話集中講座
兼担	准教授	森 朋子 (55) ＜平成30年4月＞ リテラシー演習 ※ アカデミック・ジャパニーズ1 アカデミック・ジャパニーズ2 日本語ラボa 日本語ラボb 日本語ラボc 日本語ラボd
		<b>吉永 早苗 (56) ＜平成30年4月＞ 音楽</b>
兼担	准教授	大富 あき子 (52) ＜平成30年4月＞ 学校栄養教育論 ※
兼担	准教授	辻 雅子 (45) ＜平成30年4月＞ 教職実践演習(栄養) ※ 栄養教育実習指導 栄養教育実習
兼担	助教	朝倉 和子 (46) ＜平成30年4月＞ リテラシー演習 ※ <b>東京家政学院を学ぶ</b>
兼担	助教	佐々木 麻紀子 (44) ＜平成30年4月＞ リテラシー演習 ※
兼任	講師	綾部 素幸 (59) ＜平成30年4月＞ フランス語入門1 フランス語入門2 フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	講師	大野 裕之 (54) ＜平成30年4月＞ 経済学入門
兼任	講師	久々湊 直子 (52) ＜平成30年4月＞ 美学・美術史
兼任	助教	小谷 太郎 (50) ＜平成30年9月＞ 教養の物理学
兼任	講師	河野 哲宏 (34) ＜平成30年4月＞ 中国語入門1 中国語入門2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	徐 政廷 (36) <平成30年4月> 韓国語入門1 韓国語入門2 韓国語初級1 韓国語初級2
兼任	講師	外川 重信 (62) <平成30年4月> 健康スポーツ演習 a 健康スポーツ演習 b
兼任	講師	大毅 郁子 (56) <平成30年4月> Basic English 1 Basic English 2 Listening&Speaking 1 Listening&Speaking 2 英語検定対策講座
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年9月> 色彩論
兼任	講師	辻 リン (48) <平成30年4月> 中国語初級1 中国語初級2
兼任	講師	鳥山 純子 (42) <平成30年9月> ジェンダー論
兼任	講師	西村(石川) 晶絵 (31) <平成30年9月> 外国の言語と文化
兼任	講師	野坂 真 (31) <平成30年4月> 社会学入門
兼任	講師	浜(古塵) 由樹子 (42) <平成30年9月> 世界の歴史 国際関係論
兼任	講師	三島 綾子 (43) <平成30年4月> 有機化学 生化学(総論) 代謝栄養学(生化学各論) 教養の化学 化学入門
兼任	講師	宮崎 晃子 (45) <平成30年4月> 健康スポーツ演習 a 健康スポーツ演習 b
兼任	講師	西村 敏也 (52) <平成30年9月> 民俗学
兼任	講師	小瀬 康行 (67) <平成30年9月> 考古学
兼任	講師	角和 善隆 (66) <平成30年9月> 地球の科学
兼任	講師	熊井 保 (69) <平成30年9月> 日本の歴史
兼任	講師	梅田 孝太 (37) <平成30年4月> 哲学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	徐 政廷 (36) <平成30年4月> 韓国語入門1 韓国語入門2 韓国語初級1 韓国語初級2
兼任	講師	外川 重信 (63) <平成30年4月> 健康スポーツ演習 a 健康スポーツ演習 b
兼任	講師	大毅 郁子 (56) <平成30年4月> Basic English 1 Basic English 2 Listening&Speaking 1 Listening&Speaking 2 英語検定対策講座
兼任	講師	滝沢 真美 (57) <平成30年9月> 色彩論
兼任	講師	辻 リン (48) <平成30年4月> 中国語初級1 中国語初級2
兼任	講師	鈴木 亜矢子 (40) <平成30年9月> ジェンダー論
兼任	講師	西村(石川) 晶絵 (31) <平成30年9月> 外国の言語と文化
兼任	講師	野坂 真 (31) <平成30年4月> 社会学入門
兼任	講師	宇野 陽子 (43) <平成30年9月> 世界の歴史 国際関係論
兼任	講師	三島 綾子 (43) <平成30年4月> 有機化学 生化学(総論) 代謝栄養学(生化学各論) 教養の化学 化学入門
兼任	講師	宮崎 晃子 (45) <平成30年4月> 健康スポーツ演習 a 健康スポーツ演習 b
兼任	講師	西村 敏也 (52) <平成30年9月> 民俗学
兼任	講師	小瀬 康行 (67) <平成30年9月> 考古学
兼任	講師	角和 善隆 (66) <平成30年9月> 地球の科学
兼任	講師	熊井 保 (69) <平成30年4月> 日本の歴史
兼任	講師	梅田 孝太 (37) <平成30年4月> 哲学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 丹史 (36) <平成30年4月> 生命倫理
兼任	講師	高次 裕 (33) <平成30年4月> ドイツ語入門1 ドイツ語入門2 ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	佐々木 溪円 (48) <平成31年9月> 公衆衛生学Ⅰ(総論) 公衆衛生学Ⅱ(各論)
兼任	講師	朝山 光太郎 (67) <平成30年9月> 解剖生理学Ⅰ(解剖学) 解剖生理学Ⅱ(生理学) 解剖生理学実習
兼任	講師	遠藤 由美子 (52) <平成31年4月> 家庭看護(学校安全・救急看護法)
兼任	講師	山岡 義卓 (48) <平成30年4月> フードビジネス概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 丹史 (36) <平成30年4月> 生命倫理
兼任	講師	高次 裕 (33) <平成30年4月> ドイツ語入門1 ドイツ語入門2 ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	佐々木 溪円 (47) <平成31年9月> 公衆衛生学Ⅰ(総論) 公衆衛生学Ⅱ(各論)
兼任	講師	朝山 光太郎 (67) <平成30年9月> 解剖生理学Ⅰ(解剖学) 解剖生理学Ⅱ(生理学) 解剖生理学実習
兼任	講師	遠藤 由美子 (51) <平成31年4月> 家庭看護(学校安全・救急看護法)
兼任	講師	山岡 義卓 (48) <平成30年4月> フードビジネス概論

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【平成30年度】**

- ・担当者変更により、兼任 講師 小口悦子から「東京家政学院を学ぶ」を削除。
- ・担当者変更により、専任 教授 小口悦子から「東京家政学院を学ぶ」を削除。
- ・予定していた昇任を見送ったため、専任 黒田久夫の職名が「教授」から「准教授」へ変更。
- ・担当者変更により、専任 准教授 黒田久夫から「食品学総論」を削除。
- ・担当者変更により、専任 教授 山崎薫に「食品学総論」担当科目追加。
- ・担当者変更により、専任 准教授 山崎薫に「食品学総論」担当科目追加。
- ・担当者追加により、兼任 教授 上村協子に「家庭経営学概論」担当科目追加。
- ・担当者変更により、兼任 教授 河田敦子から「東京家政学院を学ぶ」を削除。
- ・担当者追加により、兼任 教授 佐藤広美に「地域貢献活動」担当科目追加。
- ・兼任 教授 吉田博幸辞任により、兼任 教授 江川賢一が就任。
- ・担当者変更により、兼任 准教授 千葉一博から「コンピュータ概論」を削除。
- ・担当者変更により、兼任 講師 田中康裕が「コンピュータ概論」担当として就任。
- ・兼任 准教授 山原麻紀子辞任により、兼任 教授 吉永早苗が就任。
- ・担当者変更により、兼任 助教 朝倉和子に「東京家政学院を学ぶ」担当科目追加。
- ・兼任 講師 鳥山純子辞任により、兼任 講師 鈴木亜矢子が就任。
- ・兼任 講師 浜(古屋)由樹子辞任により、兼任 講師 宇野陽子が就任。
- ・兼任 講師 熊井保の都合により、就任年月が「9月」から「4月」に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
7	4
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一-Iにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
5	3	0	1	9	4	5	0	1	10	6	3	0	1	10
(5)	(4)	(0)	(1)	(10)						[1]	[0]	[0]	[0]	[1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
67	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{9} = 111.11\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
---

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<現代生活学部 食物学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
設置計画変更事項等についてなし。	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

東京家政学院大学教育改善（FD）委員会を平成17年度から設置している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度第1回委員会を平成30年5月中に開催予定。年度内には全5回の開催を予定している。

委員会は、委員会規則第3条のとおり、副学長、学部長、研究科長をはじめ各学科・専攻から選出された教員と職員で構成されている。

##### c 委員会の審議事項等

平成30年度は、次の活動内容について審議を予定している。

- ・ 学生による授業評価の実施について
- ・ 公開授業（教員相互の授業参観）について
- ・ 研究会の実施について
- ・ 授業評価、公開授業参観記録、研究会報告の公表方法について
- ・ FD・SD講演会の実施計画について

#### ② 実施状況

##### a 実施内容（平成29年度実施内容）

- ・ 授業評価アンケート結果の公開を実施
- ・ 全教員を対象とした授業評価アンケートの実施
- ・ FD・SD（講演）研究会の実施
- ・ 教員相互の授業参観の実施（全科目公開授業、学生の満足度の高かった推奨授業10科目も有り）
- ・ FD・SD外部研修会への参加 等

##### b 実施方法（平成29年度実施方法）

- ・ 授業評価アンケート結果の公開（ホームページ、学内電子掲示板）
- ・ 授業評価アンケートの実施（前・後期実施：担当科目の中から1～2科目選択）
- ・ FD・SD（講演）研究会（毎年10月頃：専任教員と職員が対象）
- ・ 教員相互の授業参観の実施（全科目公開授業、学生の満足度の高かった推奨授業10科目も有り）
- ・ FD・SD外部研修会への参加 等（FDネットワーク“つばさ”FD協議会、八王子コンソーシアム等）

##### c 開催状況（平成29年度開催状況）

- ・ 授業評価アンケートの実施（専任教員98.6%の実施率）
- ・ FD・SD（講演）研究会（専任教員 約87.8%の参加率）
- ・ 教員相互の授業参観の実施（9件）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD委員会は、「授業に関するアンケート調査」の評価結果を教員にフィードバックし、FD委員会は、評価結果に基づいて実施した結果分析について教員にフィードバックしている。教員は、フィードバックされた評価結果並びに結果分析に対して、コメント及び改善案をFD委員会に提出する。FD委員会は、教員からのコメント及び改善案に基づく授業改善を支援している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期(平成29年度開催時期)

- ・ 前期7月・後期1月に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケート結果をホームページと学内電子掲示板にて、公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置初年度であり、5月時点で設置の趣旨・目的の達成状況を評価する材料として、入学者の確保状況は入学定員の107%の入学者を確保できたことは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成30年7月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けたので、次回の時期は学内で検討中

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (  有  無 )

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 ( 2018年 6月中旬 )

(注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

## 東京家政学院大学教育改善（FD）委員会規程

（目的及び設置）

第1条 東京家政学院大学の教育理念及び教育目標に基づき、教員が主体的に行う授業改善に資することを目的とし、教育方法の研究、工夫を積極的に推進するため、学長のもとに、東京家政学院大学教育改善（FD:ファカルティ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（任務）

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項の企画・推進を図ることを任務とする。

- (1) 教育研究及び授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授活動相互研鑽に関する事項
- (4) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項
- (5) 学生の勉学能力の育成に関する事項
- (6) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
- (7) その他委員会が必要と認めた事項

（組織）

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長
- (2) 学部長
- (3) 研究科長
- (4) 各学科及び大学院から選出された専任教員 1名
- (5) 大学事務局長
- (6) 大学事務局から選出された職員 2名
- (7) その他学長が指名する者

（任期）

第4条 前条第2号の委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、第3条第2号及び第3号の委員のうちから、互選により、これに充てる。

3 副委員長は、委員のうちから、委員会の同意を得て、委員長が指名する。

4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

（学内の他組織との連携）

第6条 委員会は、必要に応じて自己点検・評価委員会及び学務委員会と連携するものとする。

（委員以外の者の出席）

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

（事務）

第8条 委員会の事務は、大学事務局が行い、必要に応じて関係部署がこれに協力するものとする。

（雑則）

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規則は、平成17年10月20日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

1 この規則は、平成20年7月17日から施行する。

2 この規則の施行後、最初に選出された第3条第1項第2号に掲げる専任教員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月23日から施行する。

附 則

この東京家政学院大学教育改善（FD）委員会規程は、東京家政学院大学教育改善（FD）委員会規程に改正し、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年1月21日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

2 委員会構成員のうち、各学科からの選出委員については、改組に伴う移行期間学科の状況を考慮し委員会で審議する。